

本号のトピックス ページ

- 1 ● 発刊にあたって
● 自治会連合会って何？
- 2 ● 幕張ベイタウンのみな
さんへー大武委員長
より
● 自治会連合会事業計画
● 自治会連合会基本理念
● 自治会連合会連絡先
- 3 ● コミュニティ・コア
研究会からのお知らせ
● 交通委員会からのお知らせ
● 声のエンターティナー
来たる
- 4 ● 各種募集のお知らせ
● 海浜幕張駅前駐輪問題
についての提案
● 編集後記
- 5 ● 打瀬小学校のページ
● 打瀬中学校のページ
- 6 ● スポンサーの広告の
ページ

発刊にあたって

このたび、ベイタウン自治会連合会準備委員会では、コミュニティ誌を発行する運びとなりました。

当コミュニティ誌では、自治会連合会からの連絡事項、千葉県企業庁からのお知らせなどをタイムリーに皆さんにお伝えします。また、打瀬小学校、打瀬中学校からのメッセージも毎号掲載します。さらに、「コミュニティ誌」と言うからには、単なる連絡事項・情報の発信に止まらず、皆さんとの双方向のコミュニケーションの場としたいと考えています。

皆さんの積極的投書・投稿を歓迎します。今後とも、当コミュニティ誌をよろしくお願いします。

なお、当コミュニティ誌は定期的に発刊していきます(今のところ、1ヶ月または2ヶ月に1回を考えています)。発行費用は、毎号全面広告のスポンサーを募り、その寄付により賄う予定です。今回は、(株)三井不動産にスポンサーになっていただきました。

自治会連合会って何？

そもそも、「幕張ベイタウン自治会連合会」なる組織がどんなものかご存知ですか？

この幕張ベイタウンが「街」として産声を上げて早や3年が経ち、住民の間にも「自治」の意識が芽生え始め、各番街毎に街全体の現在・未来を考えるための自治会組織が立ち上がりつつあります。「自治会連合会」はそのような番街毎の自治会を束ね、ベイタウン全体でなくては解決できない問題に対処したり、「街」としての声をまとめて地域社会(市や県といった自治体や幕張新都心の企業群など)との窓口となるべく組織された、特定の政治・宗教・思想にくみしない任意団体です。

今年1月18日に準備会として産声を上げてから、ちやっくちと準備を進め、ようやくこの6月1日をもって正式な発足に至りました。

自治会連合会の活動の一環として、既に交通委員会やコミュニティ・コア研究会が発足し、それぞれ活発な活動をしていることは、ポスターやチラシでもご存知かと思います。

もちろん、自治活動、コミュニティ活動の主体は、このベイタウンに暮らしている住民の皆さんです。そう、あなたが主役だということをお忘れなく。



幕張ベイタウンの皆さんへ

幕張ベイタウン自治会連合会準備会

委員長

大武孝志

すっかり初夏の薫りのする今日このごろです。このベイタウンに住み始めて2年が経過しすっかり落ち着いた人、1年たってやっと落ち着いたかなと思う人、まだまだ引っ越し荷物の片付かない人、それぞれにこの海の近くの新しい街で生活を楽しんでいることと思います。

さて、いよいよこの6月1日に我々の街の自治会連合会が誕生しました。ポスターなどでもお知らせをしましたが、昨年秋の数名の呼びかけからスタートし、今までのいわゆる「自治会」の役割にとどまらず、この新しいベイタウンにあった、新しく気品のある街づくりを目指して活動を進めてきました。

今年春までにパティオス1番街を筆頭に続々と各番街の自治会が立ち上がりました。さらに並行して、自治会連合会では創立の本来の目的のひとつである「各パティオスのみでは解決しきれないベイタウン全体に関わる課題の解決」にもさっそく取り組み、交通問題対策ではすでに目をみはる成果をあげています。また、ベイタウンの文化の発信基地ともなるコミュニティ・コア事業への住民の参加が実現し、活発な活動を展開しています。

今後も活動が活発になるにつれ、ポスターやこのコミュニティ誌を通して自治会の活動をお知らせして行きます。

1997（平成9年度）の自治会連合会

事業計画

部門	活動計画
連合会活動（事務局）	<ul style="list-style-type: none">● 行政との連絡・調整● 他の地区連合会との連携● 自治会の創立の手助け● 各番街の連絡調整機能
広報	<ul style="list-style-type: none">● ポスターによる各種広報● コミュニティ誌の創刊● 書記・議事録の作成
防災・防犯	<ul style="list-style-type: none">● 自主防災組織の設立● 防災防犯計画の作成● 防災訓練
交通関連	<ul style="list-style-type: none">● 駐車問題の解決● 道路問題
コミュニティ・コア関連	<ul style="list-style-type: none">● コミュニティ・コア事業の促進に関し、自治体とタイアップして活動
環境・美化	<ul style="list-style-type: none">● 駅前駐輪問題の解決
文化・芸術・スポーツ関連	<ul style="list-style-type: none">● 文化・スポーツ活動のサポート
各種イベント	<ul style="list-style-type: none">● ベイタウン祭り実行委員会● その他イベントのサポート

基本理念

- 気品ある美しいベイタウン
- 心ふれあう文化の街ベイタウン
- 環境と人に優しい街づくり

各番街委員の連絡先

街区	部屋	名前	電話
1番街		大武	
2番街		鎌形	
3番街		金	
4番街		犬井	
5番街		窪田	
6番街		本村	
8番街		吉識	
10番街		松村	
11番街		中村	
12番街		鈴木	

コミュニティ・コア研究会から

コミュニティ・コアは、ベイタウンの中央部に建設が計画されており、地域活動の拠点となる複合施設です。区役所、図書館の分室が建設されるほか、多目的ホールを始めとした文化施設、行政・福祉サービス施設が予定されています。県企業庁の計画では、第1次工事の竣工は平成13年の予定です。「幕張ベイタウンこみゅにていコア研究会」は、住民による自主組織。企業庁主管の研究会に3人の代表を派遣します。

また、当研究会ではハード面だけでなく、ソフト面でも「子どもルーム」、「サロン・コンサート」、「マルチメディア」、「テニスコート」、「幕張探検隊」、「コミュニティ放送研究会」、「メッセ・ボランティア」、「家庭菜園」などをキーワードに活発な活動を展開しています。以下では、その中でも緊急の課題のひとつである「子どもルーム」についてご報告します。

幕張ベイタウンこみゅにていコア研究会委員会：下川正晴（5番街201号，211-0472）

「ベイタウンに子どもルームを」

現在ベイタウン住宅地域には、共働きの家庭の子どもを安心して任せられる子どもルーム（対象は小学校4年生まで）がないため、いろいろな弊害があることは先日皆さんにお配りしたアンケートでお知らせした通りです。アンケートの結果、絶対必要：62件、あった方が良い：80件、必要ない：7件という意見が集まりました。この結果を踏まえて、もう一度住民の皆さんに、就学児童を持つ共働きの家庭が本当に困っていることを切実に訴えたいと思います。コミュニティ・コア予定地内での子どもルーム建設にご理解と応援をお願いします。

ベイタウン住宅地区に子どもルーム建設を目指す会：蔦早穂美

交通委員会から

「次は私たちの出番です」

ベイタウンに住み始めて3年目に入りました。当初は、埋め立て地にポツリという感じでしたが色々な夢と希望を持って、引っ越してきたと思います。各番街とも美し外見を持ち、それを囲む道路や歩道は、安全を保障してくれているかのような感じでした。住み始めて2年を経過した現在では、机上の設計とは異なり、予想しなかった問題が出てきました。特に路上駐車、通勤時間帯の住民以外の車両の通過、多発する交差点での事故等の交通問題については、みなさんも一度は、「ひやり！」としたことがあると思います。

交通委員会は、住民の安全確保という観点から、連合会の正式発足を待たずに当面の緊急課題の対策として、路上駐車問題を中心に具体的な活動を実施してきました。入居当時は、ほとんどなかった駐車車両も、今ではほとんど全ての道路に駐車車両がいると言っても過言ではありません。特に、ベイタウン入り口道路は、いつ事故が起きてもおかしくないほど危険な状態にありました。この駐車車両は、主に心ない一部のホテル地区従業員が止めていたものでした。この駐車車両を企業庁や各ホテルの協力を得て一掃したことは、みなさんもお気づきのことと思います。

駐車問題は、まだまだベイタウン入り口を一掃しただけです。これから、「各通りをどのように対処（規制を含めて）すれば良いのか」等、みなさんの意見をとりまとめて活動していきたいと思っています。

最後に、交通委員会からお願いがあります。私たちは、特にホテル各社に対し、ベイタウン入り口道路を無料駐車場代わりに使用することをやめるよう強く申し出てきました。しかしながら、ベイタウン内はどうでしょう。

毎日、約200台以上の車が路上を車庫代わりに使用しています。ベイタウン内のパティオス及びミラリオには、100%以上の駐車場を有しています。私たちのちょっとした我慢が、安全で美しい街を維持することが出来るのです。次は、私たちの出番です。みんな、安全で美しい街を創っていきましょう！

《お知らせ：声のエンターティナー来たる！》

来る6月14日（土）午後7時よりパティオス11番街コミュニティーハウスにて、日本オペラ界バリトン・トップの一人である水野賢司のリサイタルが開催されます。エンタテイメントのその名の通り、観客を笑いの渦に巻き込んだ途端、バリトンの哀切な声で観衆を魅了します。

お知らせは各番街の掲示板およびベイタウン内の各お店にあります。チケットは2番街ファミリー・マート、5番街ヤンマーで発売中。（全自由席¥3,000）

なお、この企画はベイタウンを身近に芸術を楽しめる素敵な街にしようと集まった住民グループによるものです。

お問い合わせ： 小谷崎

投稿をお待ちしています

1. 譲ります、譲って下さい。
2. サークル・教室の募集（ただし、営利目的の場合には、1行あたり5千円）。
3. 本誌への投稿や紙面の内容に関する感想文など。

こんな投稿をお待ちしております。2番街と6番街のコンビニ（ファミリーマートおよびサンエブリー）に備え付けの応募箱にどしどし投函して下さい。また、このコミュニティ誌の編集に興味のある方、記者として参加したいという方がおりましたら、遠慮せずに申し出て下さい。当編集局では、紙面作りにご協力頂ける方を大歓迎します。

論説 海浜幕張駅前の駐輪問題について提案したいこと

幕張ベイタウンは、全国でも前例のない素晴らしい環境の中、現在のようなヨーロッパ風の沿道型住宅が建設され、まだ開発は続いている。

この街に住む住民は日本を代表する中産階級の典型として、意識水準の高い人々が、単にハードの良さだけにとらわれないこだわりを持った選択肢によってこの街を選んでる。この街の住民は、自らの高いレベルに見合う行動やモラルを示すことによって次世代の模範となるものを残すべきである。

明文化された法律を持たない遠い英国の例を挙げるまでもなく、我々の身近にある打瀬中学では校則が存在しないという事実をどれだけの大人たちは知っているだろうか？規則や条例が存在しないこの街の良さを逆手にとり、青空駐車を駐輪を繰り返す大人たちの行動のどこに子供たちにとっての説得力があるだろうか？

物事の解決は、話し合いやモラルある価値観の共有により守られるはずである。この街の玄関口であるJR海浜幕張駅前の駐輪問題も、大人たちが見識ある行動を示すことで簡単に解決されるものと信じている。

多少の利便性を犠牲にしてもこの問題を自ら解決できることが、ベイタウン住民の規範を示すはじめの一歩と考える。

（編集委員：金一剛）

編集後記

何事も最初が肝心とは思いますが、なにぶん慣れないもので、思ったような紙面を作成するのは想像以上に難しいということを実感しています。

これから、定期的に発刊していけるのか非常に不安ですが、皆さんの暖かいご支援があれば、何とかやっていけるのではないかと思います。

今後ともよろしくお願いします。

－ 企画：3番街220号室 金一剛 (e-mail: ikkim@xa2.so-net.or.jp)

皆さん、海浜幕張公園の「月曜カラス問題」って知ってますか？土日に公園で遊んだ人たちが捨てていった残飯をねらってカラスたちがゴミ箱をあさり、そこら中を散らかしてしまう問題を私が勝手にそう呼んでいます。

この問題も「公園管理者が何とかせい」と言う前に、遊んだ人たちがゴミを持ち帰れば解決できる“地域コミュニティのモラルの問題”のひとつだと思います。このような小さな問題から一つ一つ取り上げて、街全体のモラルの向上、成熟した街作りに少しでも貢献できたら、と考えています。

－ 編集：1番街210号室 板東司 (e-mail: tbando@dp.u-netsurf.or.jp)

「新しい街に住む」ということは、実に、「新しい街を作る」ということと同じ事のように。必要なものは自分たちの手で作り、要らないものは捨てる。そしてその結果どんな街を作りたいのか。20年、30年後に子供たちが帰ってきて、何世代にもわたって住み続ける。そういう街を作りたいと思っています。

－ 調整・印刷手配：10番街612号室 松村守康 (e-mail: m-matz@mxq.meshnet.or.jp)

連合会愛称募集

自治会連合会の正式名称は行政の取り決めにより自由度が低く、どうしても堅い名前となってしまいますが、私たち住民が親しみを込めて呼ぶ「愛称」については私たち自身で決める権利があります。そこで、「愛称」について皆さんに決めてもらうべく、コンテストを開催します。

この幕張ベイタウンという新しい街の自治組織としてふさわしい「愛称」をご応募ください。

コミュニティ誌愛称募集

産声を上げたばかりのこのコミュニティ誌も、とりあえずは「Baytown News」として発行しましたが、皆さんに親しまれる愛称を付けて頂きたいと思います。このコミュニティ誌の雰囲気にふさわしい「愛称」をご応募ください。

いずれのコンテストも、採用させて頂いた方には、1万円分の図書券を、また佳作の5名の方には各1千円分の図書券を進呈します。

応募要項

当誌に折り込みの応募用紙に必要な事項を記載のうえ、2番街および6番街のコンビニに備え付けの応募箱に投函してください。締め切りは、6月15日までです。コンテストの結果は、次号の当誌にて発表します。



打瀬小から
教頭 宍倉 喜巳

" 困っている人を助けるのは素晴らしいこと "

明るくきれいな学校、近未来を思わせる街並、屈託のない子供の笑顔。子供達を取り巻く環境は恵まれています。でも、目を転じるとこの街で、お年寄りや体にハンディキャップのある方をみかけることがほとんどありません。

子供達が将来、あるいは明日にでも誰かに手を貸してほしいと願っている人に出会った時。当たり前のこととしてそれが出来るだろうかと少し心配です。誰もが社会の一員。特別な目で見ないで、共に生活できるような子供達に育て欲しいと願って、本校では開校以来毎年体にハンディキャップのある方をお招きしてお話を聞く機会を設けています。

7年度は、車椅子を使用している方、8年度は耳の不自由な方、本年度は目の不自由な方をお招きしました。下の作文は、今年の4月21日（火）に精神薄弱者厚生施設めいわ施設長 高梨 憲司 氏のお話をうかがったときのものです。

高梨さんへ
4の2 岡戸 麻衣
高梨さんの話を聞いて、私は考えが変わりました。
今まで私は、困っている友達さえ助けてあげられませんでした。そんな私が街なかで、バツタリと体の不自由な人に出会ったら、きつと「はずかしい」と思っ見てみぬふりをするでしょう。私は今まで体の不自由な人に出会ったことはありませんでした。でも、これからはドンドン行動範囲が広くなります。きつと、体の不自由な人とも出会うことでしょう。その時、前の私なら助けてあげられないと思います。でも、今の私はちがいます。勇気を出して助けてあげようとするでしょう。
だって、高梨さんが教えてくれたんです。困っている人を助けるのは「はずかしい」ことではなく、「すばらしい」ことだって。
高梨さん。私の今までの考えを変えてくれて本当にありがとうございました。

おいでください打瀬中学校に

「ベイタウンの自治会」の発足により自治会だよりが発行されることに伴い、学校の様子を紹介して欲しいとの依頼を受けました。中学校として、学校の様子が住民の皆様にご理解いただける機会と考え喜んで情報の提供をさせていただきます。

平成7年	
生徒数44名	クラス数
1年(25)	(1)
2年(11)	(1)
3年(8)	(1)

平成8年	
生徒数100名	クラス数
1年(40)	(1)
2年(43)	(2)
3年(17)	(1)

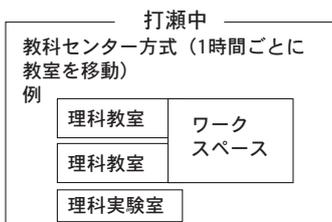
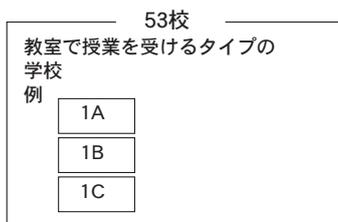
平成9年	
生徒数159名	クラス数
1年(57)	(2)
2年(51)	(2)
3年(51)	(2)

さて、本校は開校3年目を迎えました。

平成7年度の開校により、花香校長のもとに新しい学校作りに取り組み、打瀬中にふさわしい校歌、校章などが作られました。

打瀬中学校は市内で54番目の学校です。平成9年の4月に有吉中が発足し現在千葉市には55校の中学校（生徒数27,052名）と1校の養護学校があります。

55校の中学校の学習環境（教室等）については



のように大きく分けることができます。住民の皆様の中学校時代はたぶん教室で授業を受けるタイプの学校だったと思います。打瀬中学校のような教科センター方式の学校は新しい教育をめざすにはこのような学習環境が必要であるとの考えのもとに建設された学校です。「百聞は一見にしかず」という言葉があります。どうぞ、打瀬中学校においでください。生徒の授業の様子や学校の施設の変化を目で確かめてください。お待ちしております

MOC

人生の本当の豊かさを、感じられる住まいとは。

MITSUI MS.
ONE-HUNDRED
CLUB

VOL.

1

自分らしい
暮らし方って何だろう。

 **三井不動産**

MITSUI MS. ONE-HUNDRED CLUB

MOCについてのお問い合わせは、

サンライフ・クリエイション(株) / 三井ミズ・ワンハンドレッドクラブ事務局

TEL:03-3346-4114まで、お気軽にどうぞ。

きれい、すこやか、おいしい、がキーワード。

妻、夫、子供。それぞれの望むライフスタイルが見えてきた。

「アーテージ・そが」に見る

MOCの成果。

自分らしい、家族らしい暮らしを実現できる「アーテージ・そが」。